

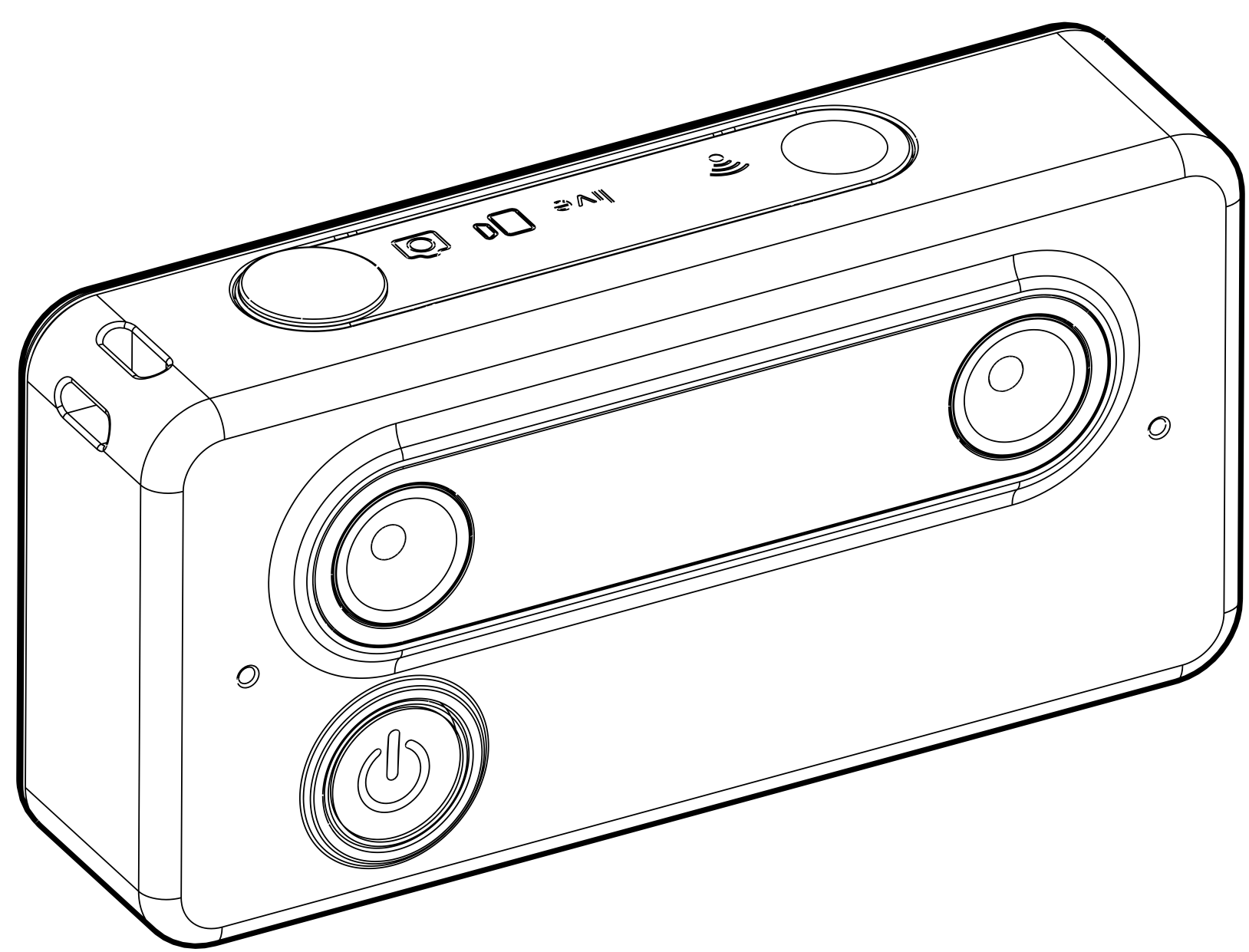
ポケット 3 D カメラ

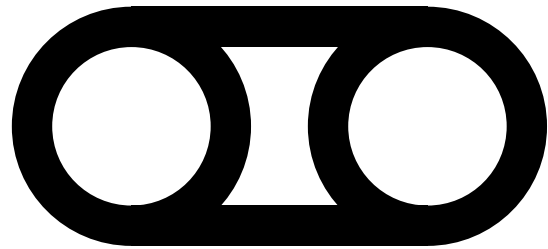
LET'S

エピュータ

型番：L-EPT3D

取扱説明書



SID 

3D Camera

株式会社 **レッツ** コーポレーション

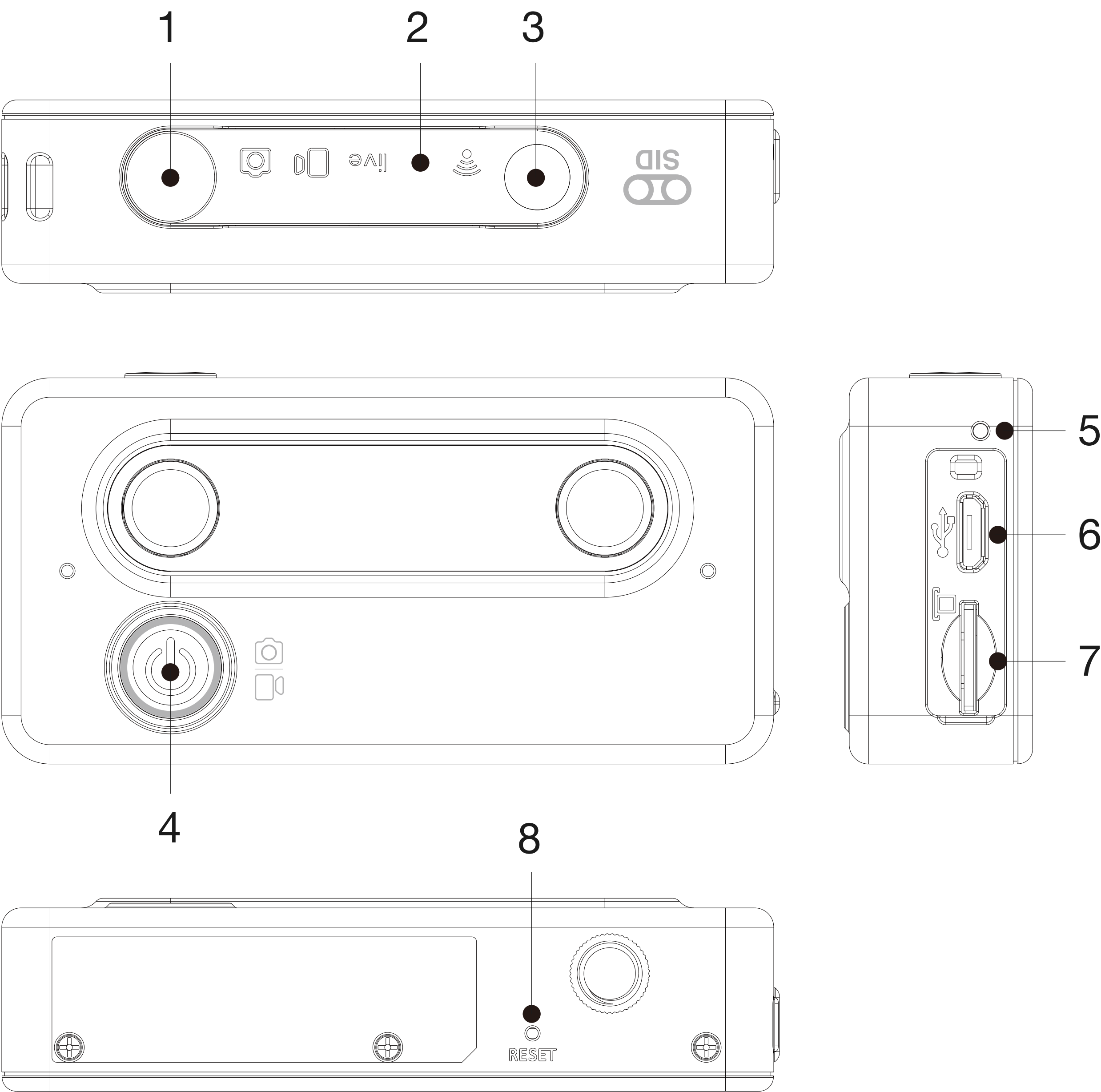
概要

ポケット 3Dカメラ「エピュータ」(以降、カメラ)は、高解像度の3Dビデオと3D写真を提供し、互換性のあるストリーミングソフトウェアを使用して3Dでライブストリームを提供します。

視聴者はライブ体験することができ、再度、同じ体験

仕様

ビデオの最大解像度	3K (2880x1440) / 30fps
写真の最大解像度	32M (8064x4032)
レンズ	FOV 160 / F2.4
寸法	80 x 40 x 19.5 (mm)
重量	60 g
インターフェース	Wi-Fi 802.11n / Micro USB2.0 / Micro SD
SDカード	最大128 GB
バッテリー	1300 mAh
USB	MSDCモード / UVC1.1モード



- 1 シャッターボタン
- 2 モードランプ
- 3 Wi-Fiボタン
- 4 電源ボタン / バッテリー・充電ランプ / ビデオ・写真モード切り替えスイッチ
- 5 エラーランプ
- 6 USB端子
- 7 メモリーカードスロット
- 8 リセットボタン

ご注意

- カメラに使用されているバッテリーは、取り扱いを誤ると、火災または化学的な火傷の恐れがあります。
- カメラは、50℃以上の環境に置かないでください。
- カメラに衝撃を与えないでください。
- カメラは、子供またはペットの手に届かない場所に保管してください。
- カメラを雨や湿気にさらさないでください。
- カメラを廃棄する場合、地方自治体のリチウム電池・ニッケル水素電池の廃棄に関する条例または規則に従ってください。
- カメラの設置や撮影につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

Wi-Fiを接続する (iOS)

1 アプリをインストールします。

App Storeから「SIDカメラ」を検索して、SIDカメラアプリをインストールします。

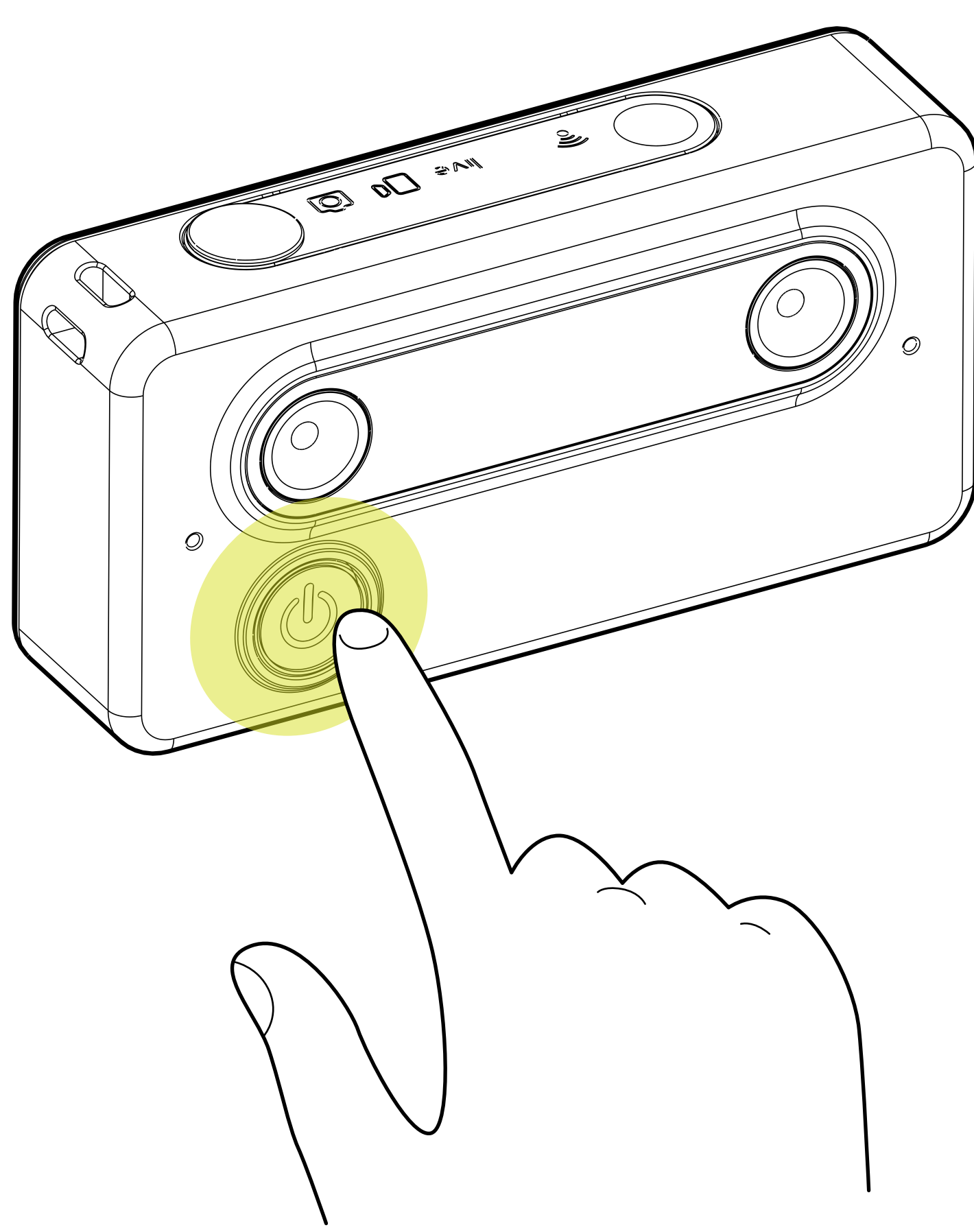


iOS 9.x以降



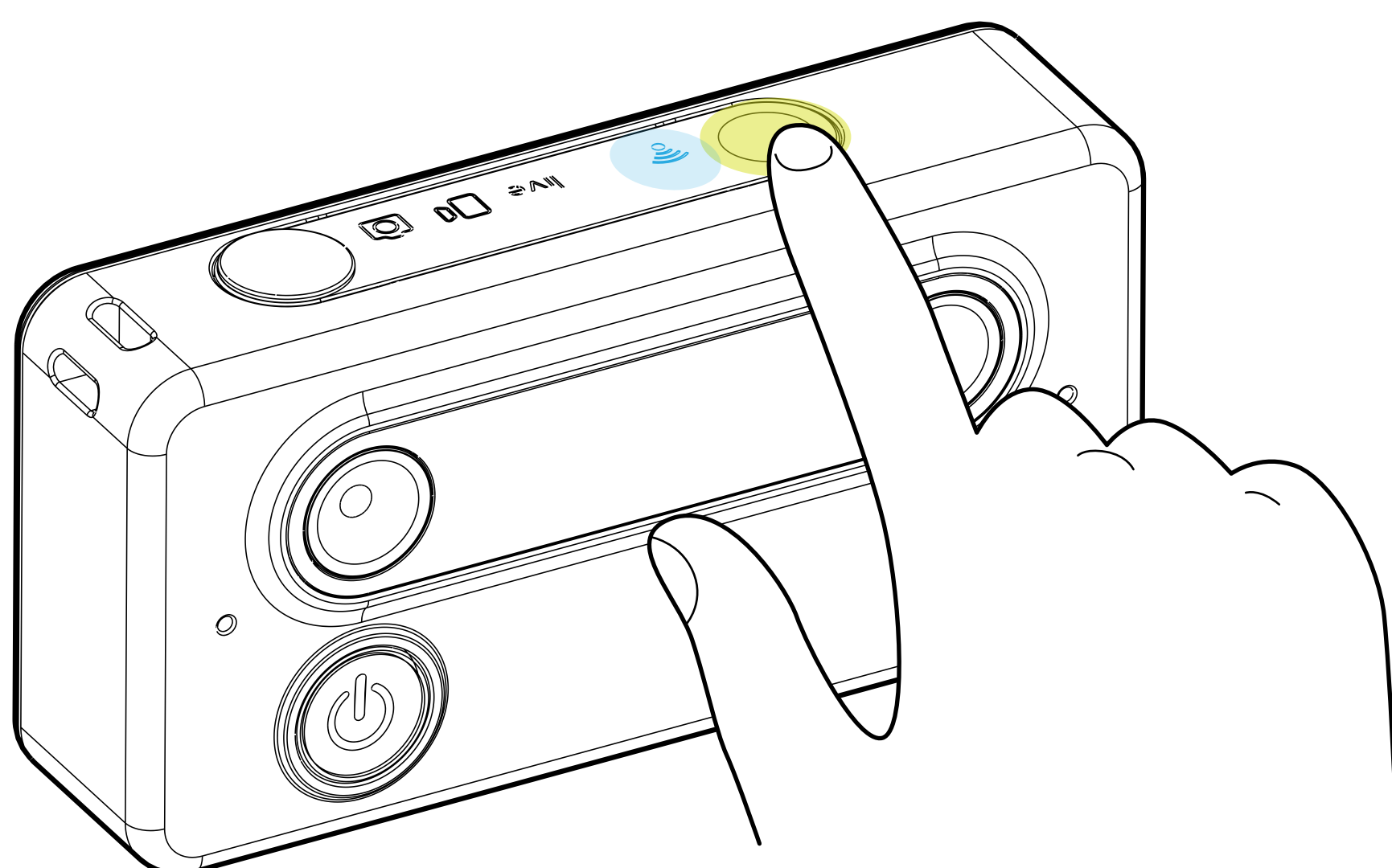
2 カメラの電源を入れます。

ピーと音が鳴り、ランプが点灯するまで、電源ボタンを押し続けます。



3 カメラのWi-Fiをオンにします。

Wi-Fiボタンを1回押すと、Wi-Fiランプが点灯します。



4 Wi-Fiを選択

iOSの設定に行き、Wi-Fiをオンにします。
「SID_XXXXXXXXXXXX」Wi-Fiネットワークをタップし、パスワード（12345678）を入力します。



Wi-Fi



SID_XXXXXXXXXX



SID_XXXXXXXXXX



SID_XXXXXXXXXX



接続に成功すると、Wi-Fiランプが点滅します。



Wi-Fiを接続する(Android)

1

アプリをインストールします。

Playストアから「SIDカメラ」を検索して、SIDカメラアプリをインストールします。



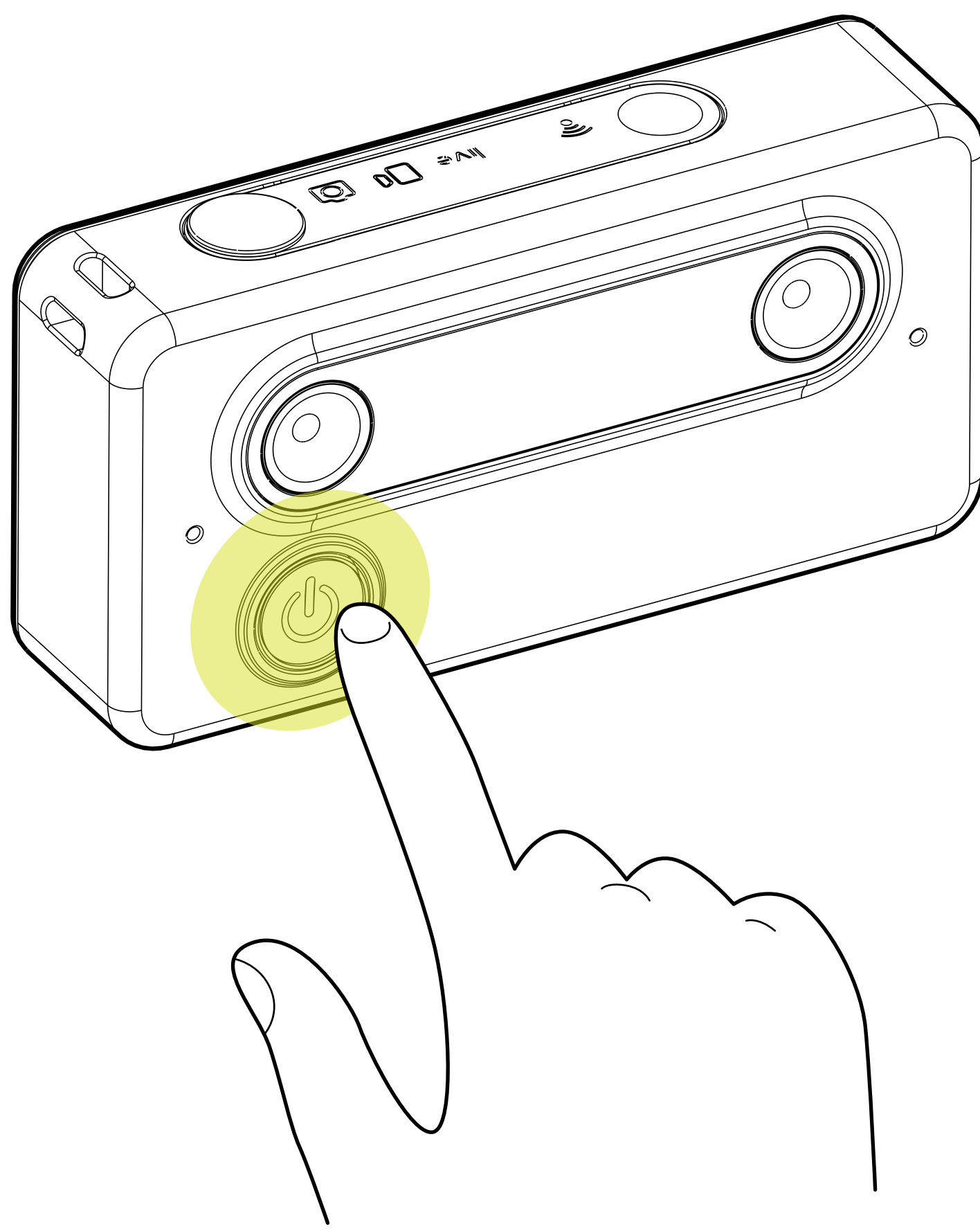
Android 5.x以降



2

カメラの電源を入れます。

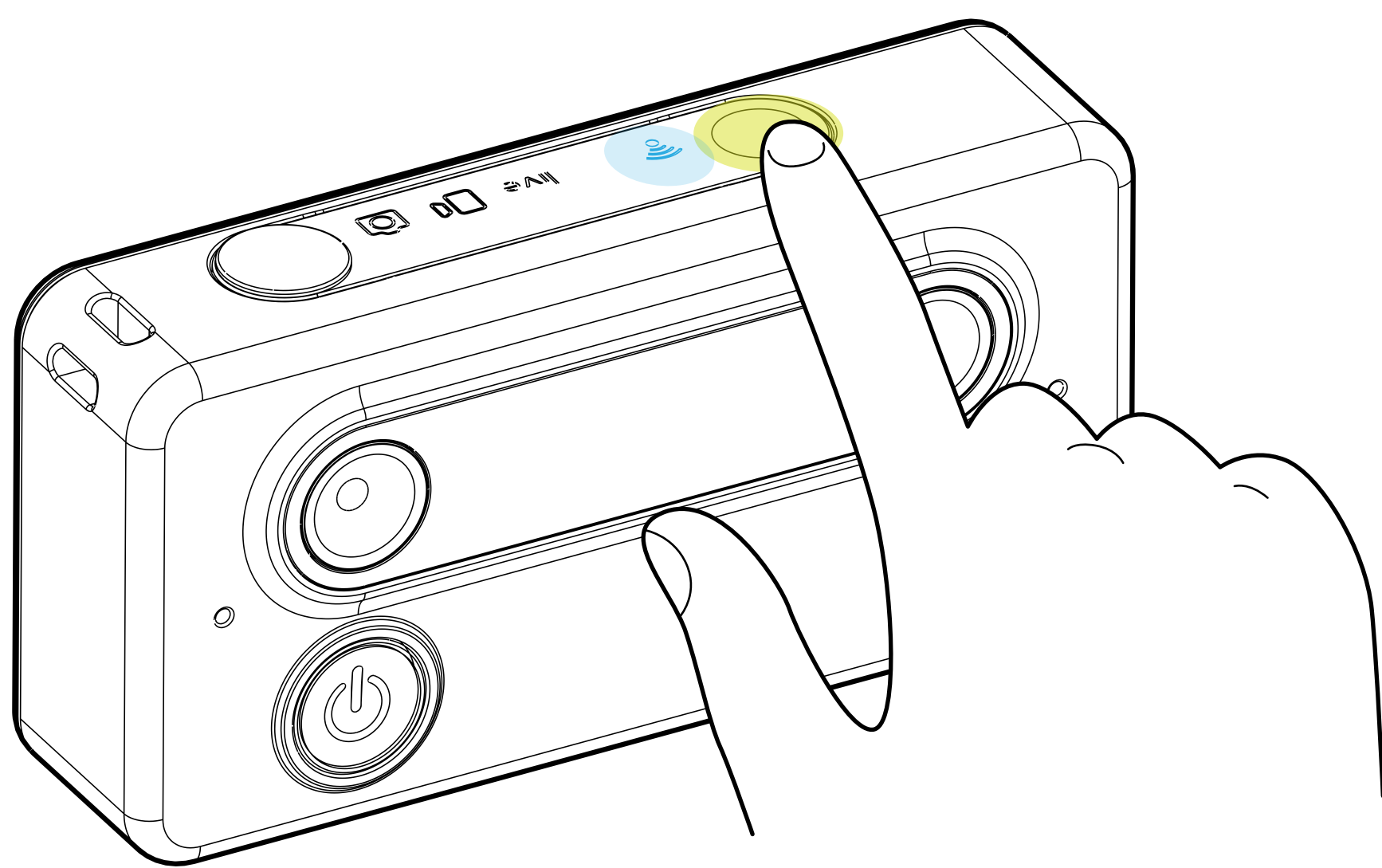
ピーと音が鳴り、ランプが点灯するまで、電源ボタンを押し続けます。



3

カメラのWi-Fiをオンにします。

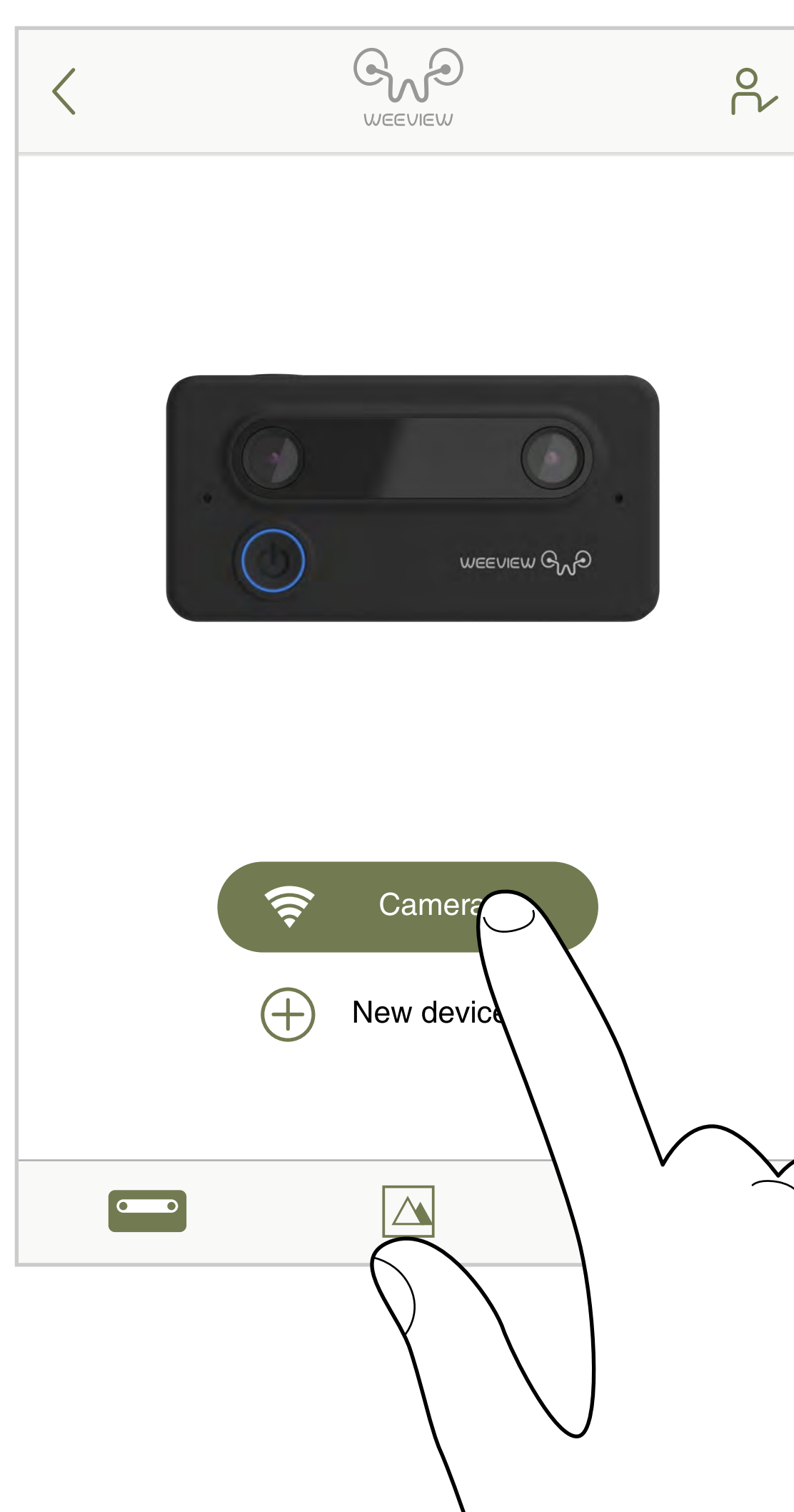
Wi-Fiボタンを1回押すと、Wi-Fiランプが点灯します。



4

Wi-Fiを選択

SIDカメラアプリを開きます。



「SID_XXXXXXXXXXXX」 Wi-Fiネットワークをタップし、パスワード（12345678）を入力します。



SID_XXXXXXXXXX



SID_XXXXXXXXXX



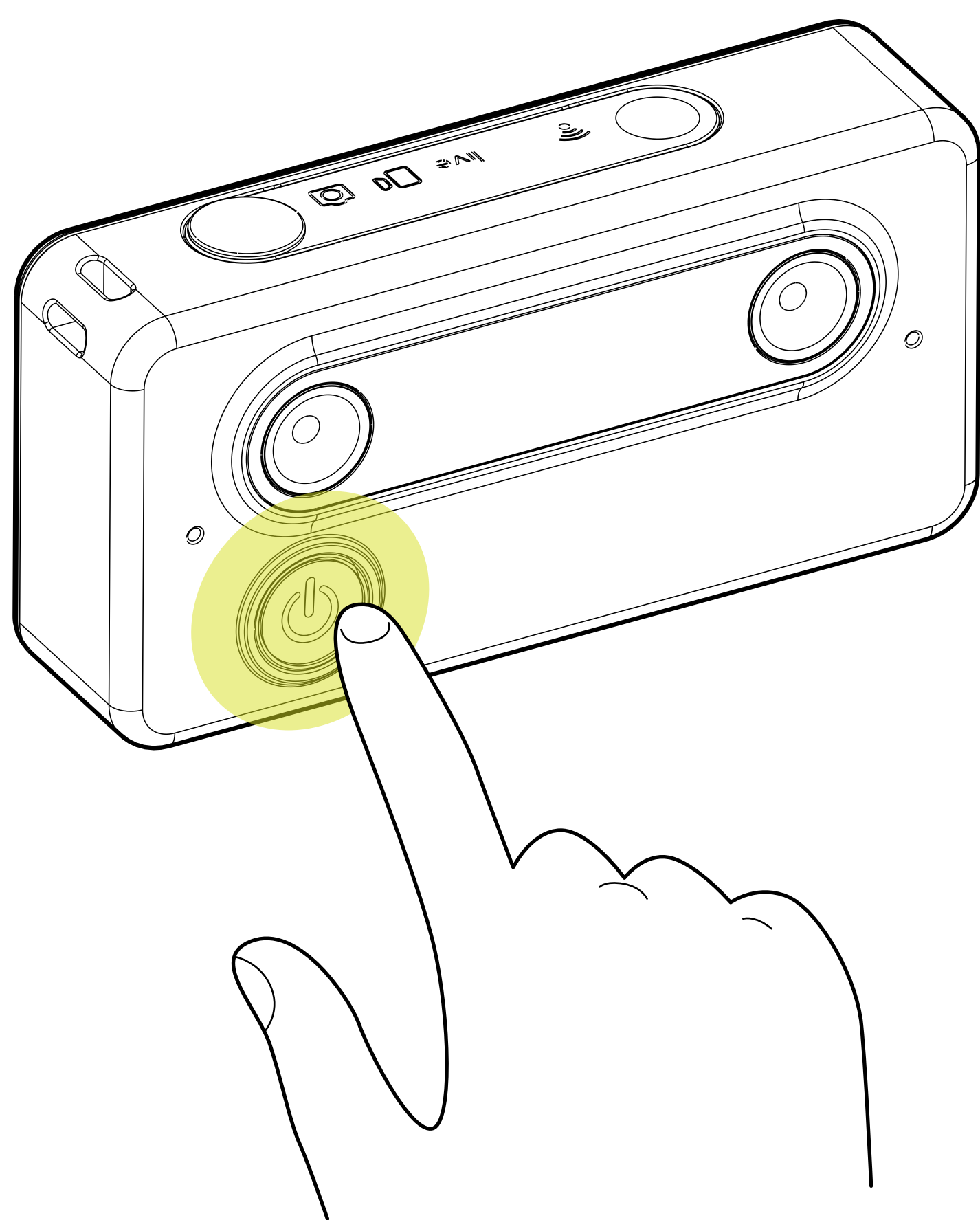
SID_XXXXXXXXXX

接続に成功すると、Wi-Fiランプが点滅します。

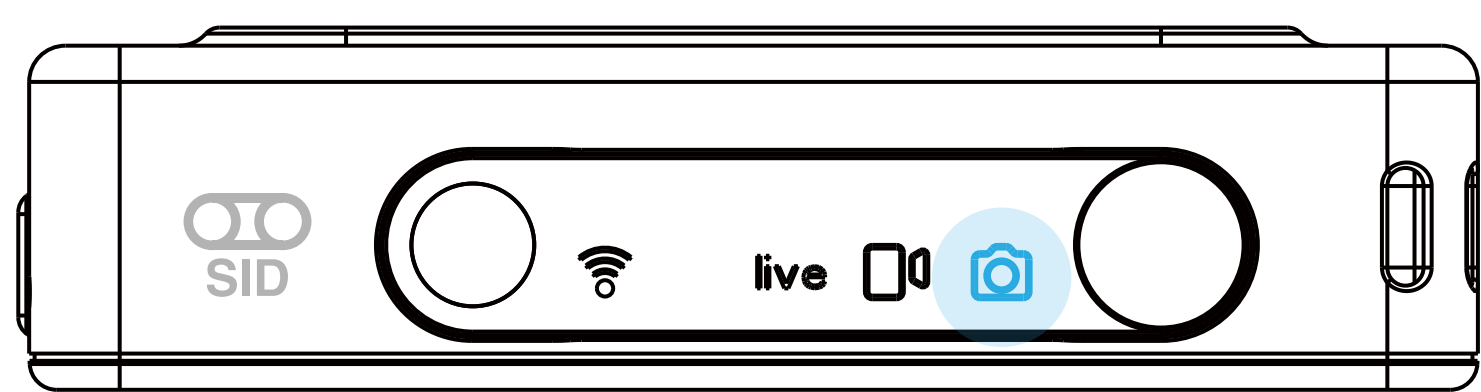


録画/写真モードを切り替え方

録画/写真モードの切り替え
電源ボタンを 1 回押します。



写真モード



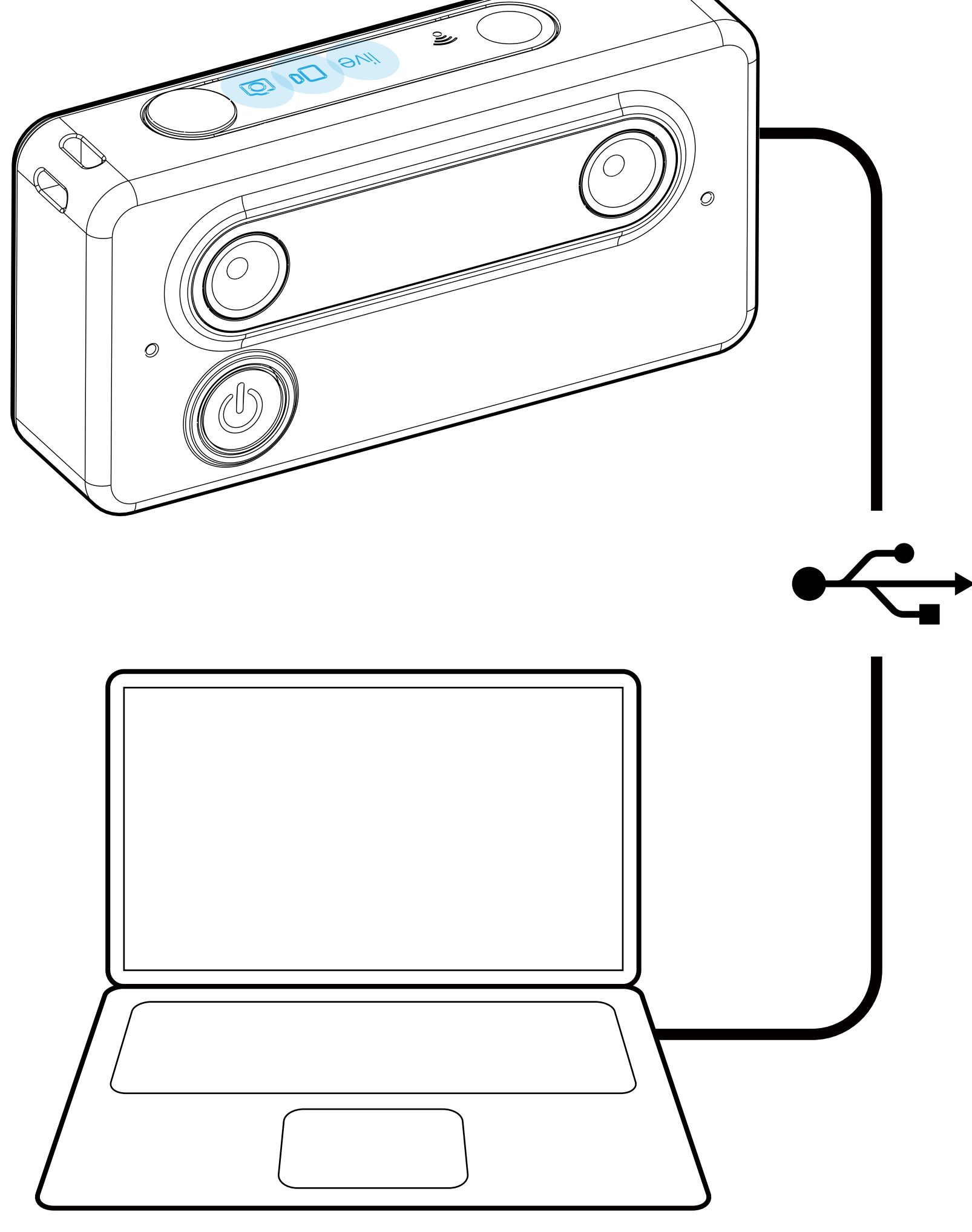
録画モード



ライブストリーミング

1 PCに接続する

USBケーブルで、カメラをPCに接続します。
カメラの電源をオンにすると、
「録画、写真、Live」のランプが点灯します。

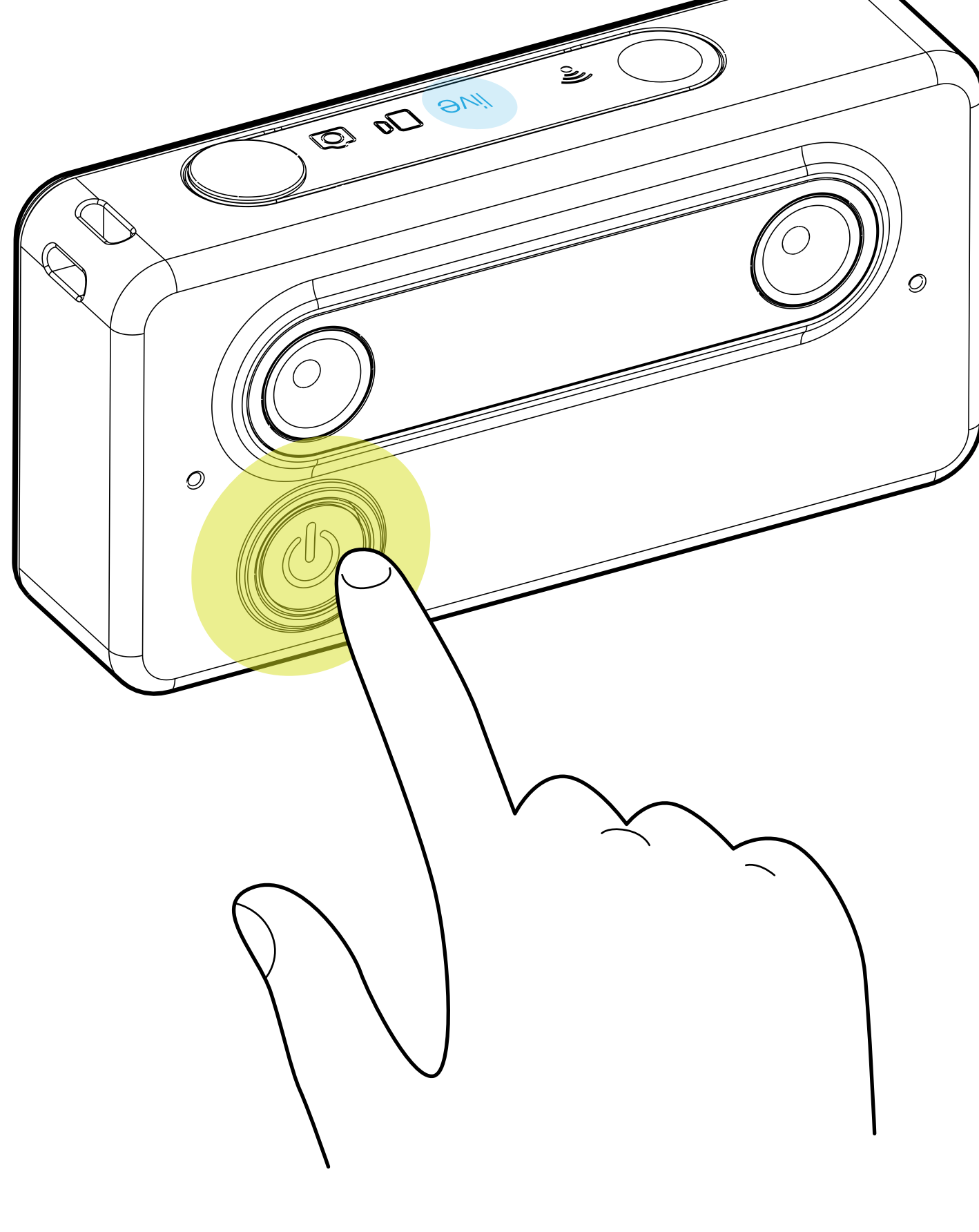


コンピューターのシステム要件:

1. Windows®7 64ビットまたは、Windows®10 64ビットオペレーションシステムを使用します。
2. K-LiteコーデックPパック・フルバージョンをダウンロードして、インストールをします。
「https://www.codecguide.com/download_kl.htm」
UVCフレームレートを30fpsにします。
3. 「<https://obsproject.com/>」から、OBSソフトウェア (Open Broadcaster Software) をダウンロードして、インストールをします。

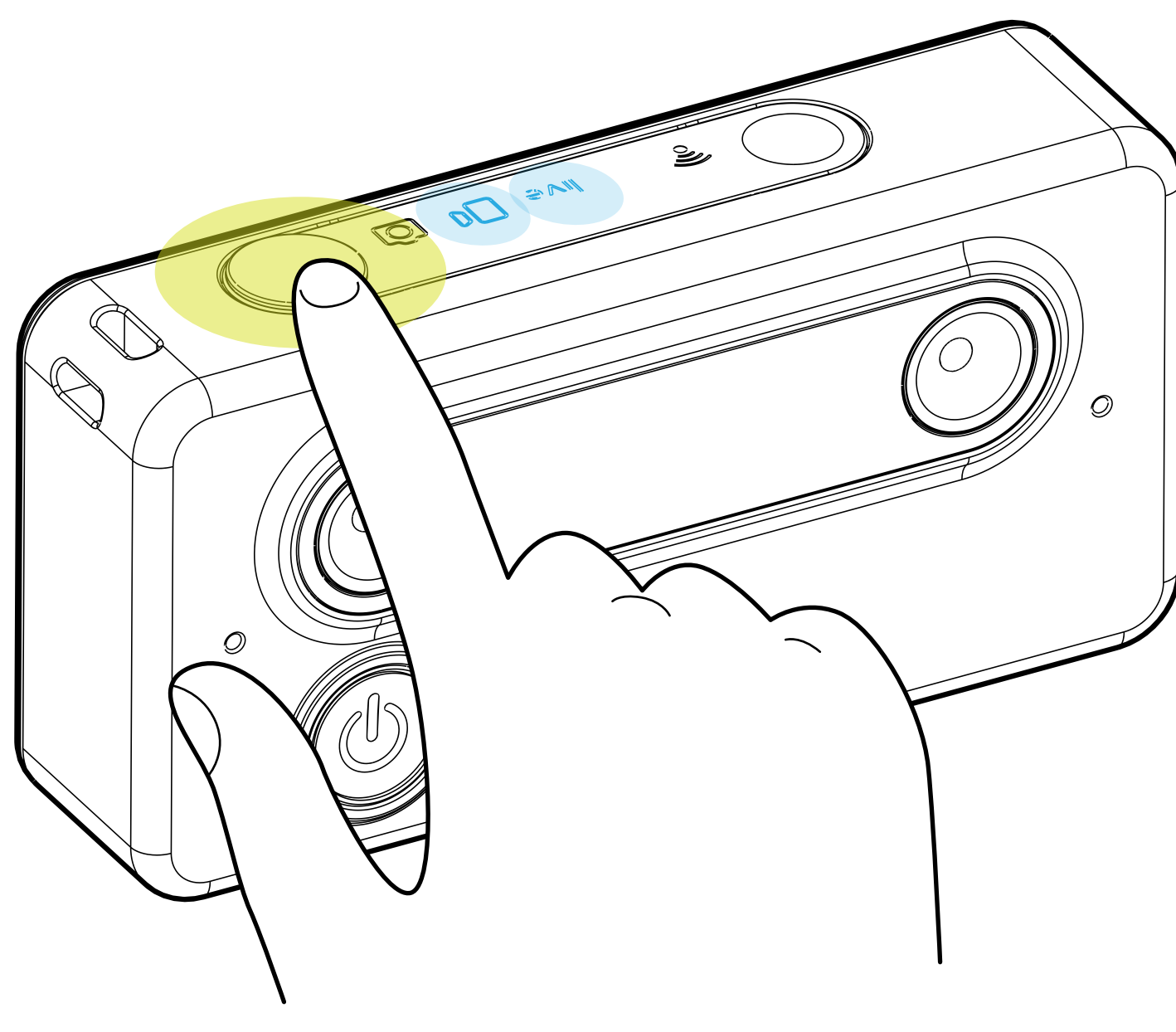
2 UVC(USB Video Class)モードに変更

電源ボタンを1回押すと、「Live」ランプのみ点灯します。

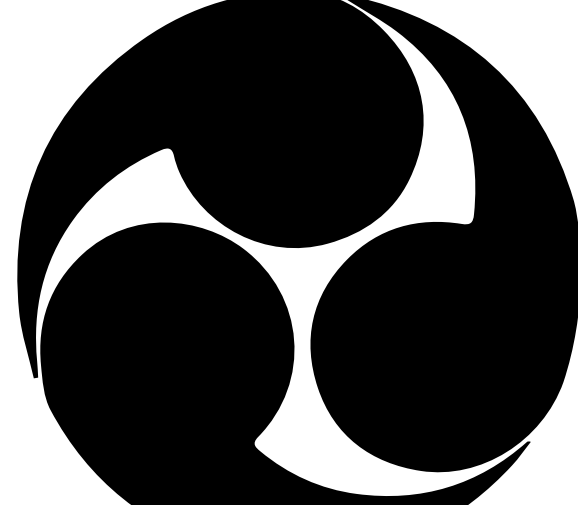


3 ライブストリームモードを有効にする

シャッターボタンを1回押すと、「録画」と「Live」のランプが点灯します。

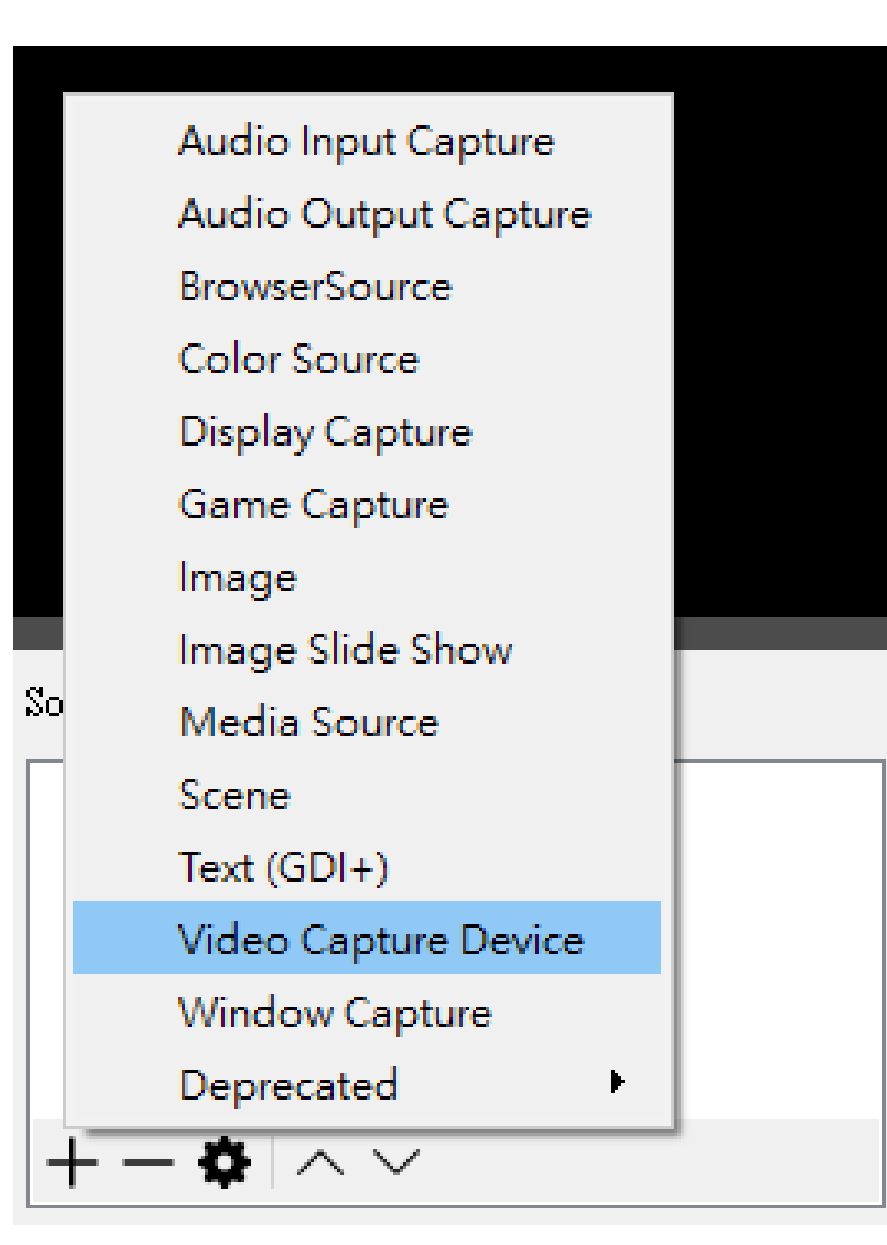


4 OBS(Open Broadcaster Software)を開く

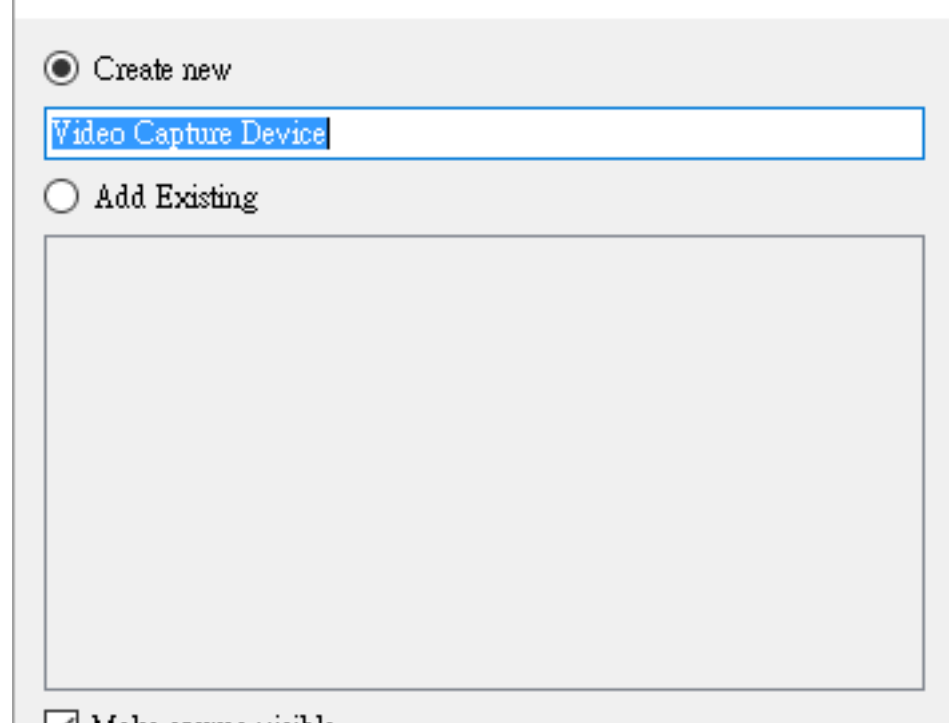


1 Sources > + > Video Capture Device

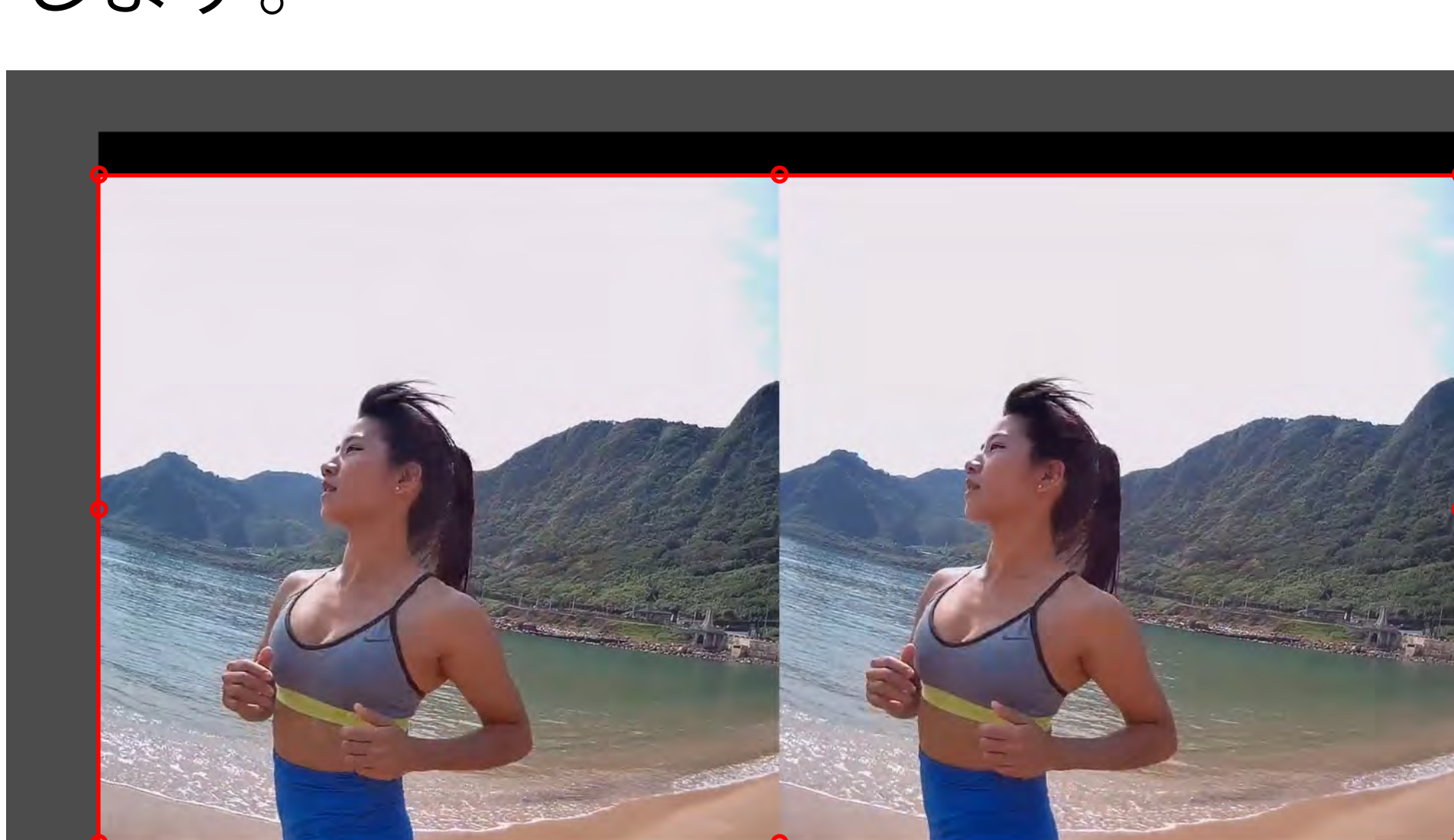
を選択します。



2 Create new > OK を選択します。



3 赤い線の領域を調整して、黒い画面を調整



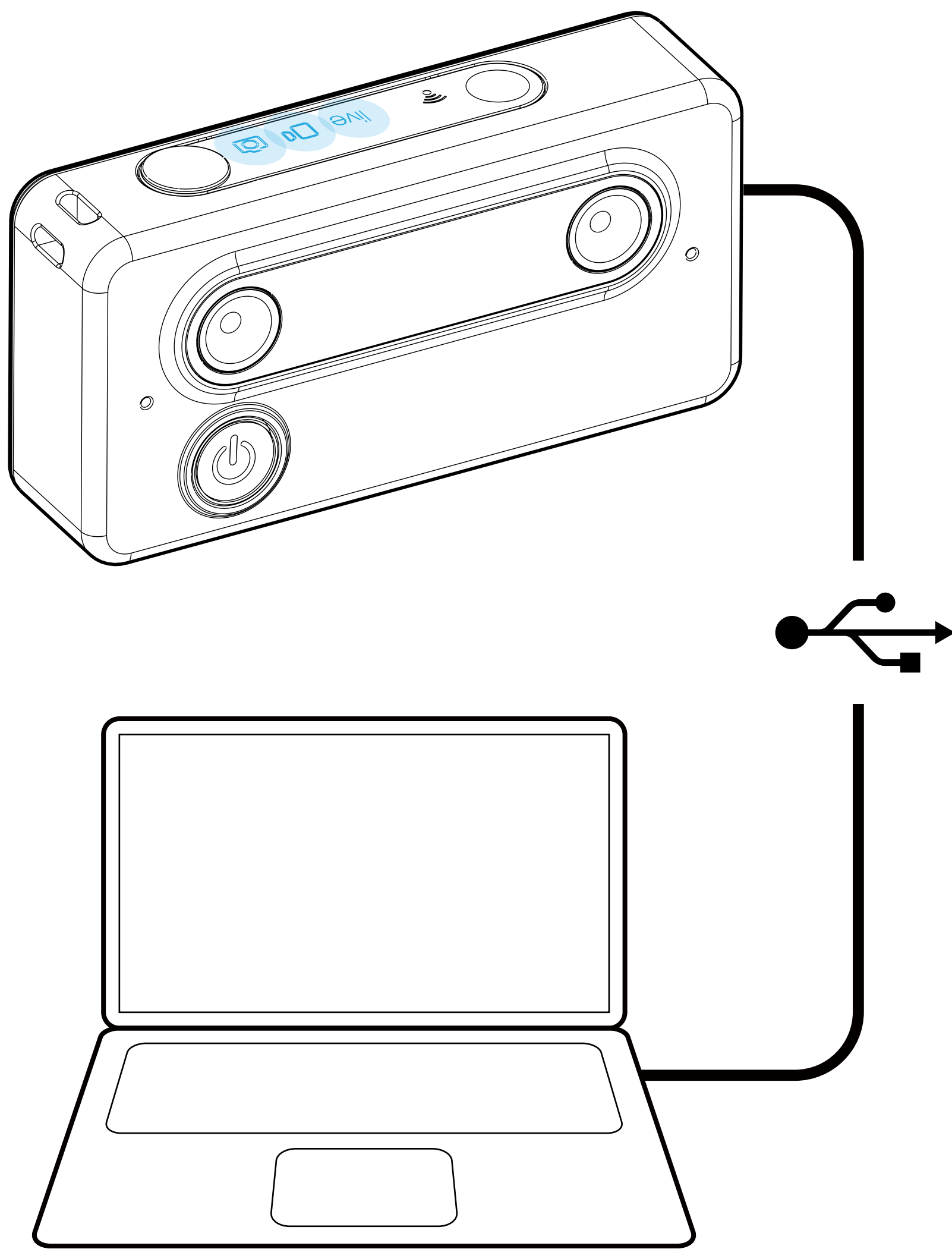
4 OBSの指示に従って、カメラのライブ

ストリーミングをソーシャルメディアに送信します。

マスのストレージモード

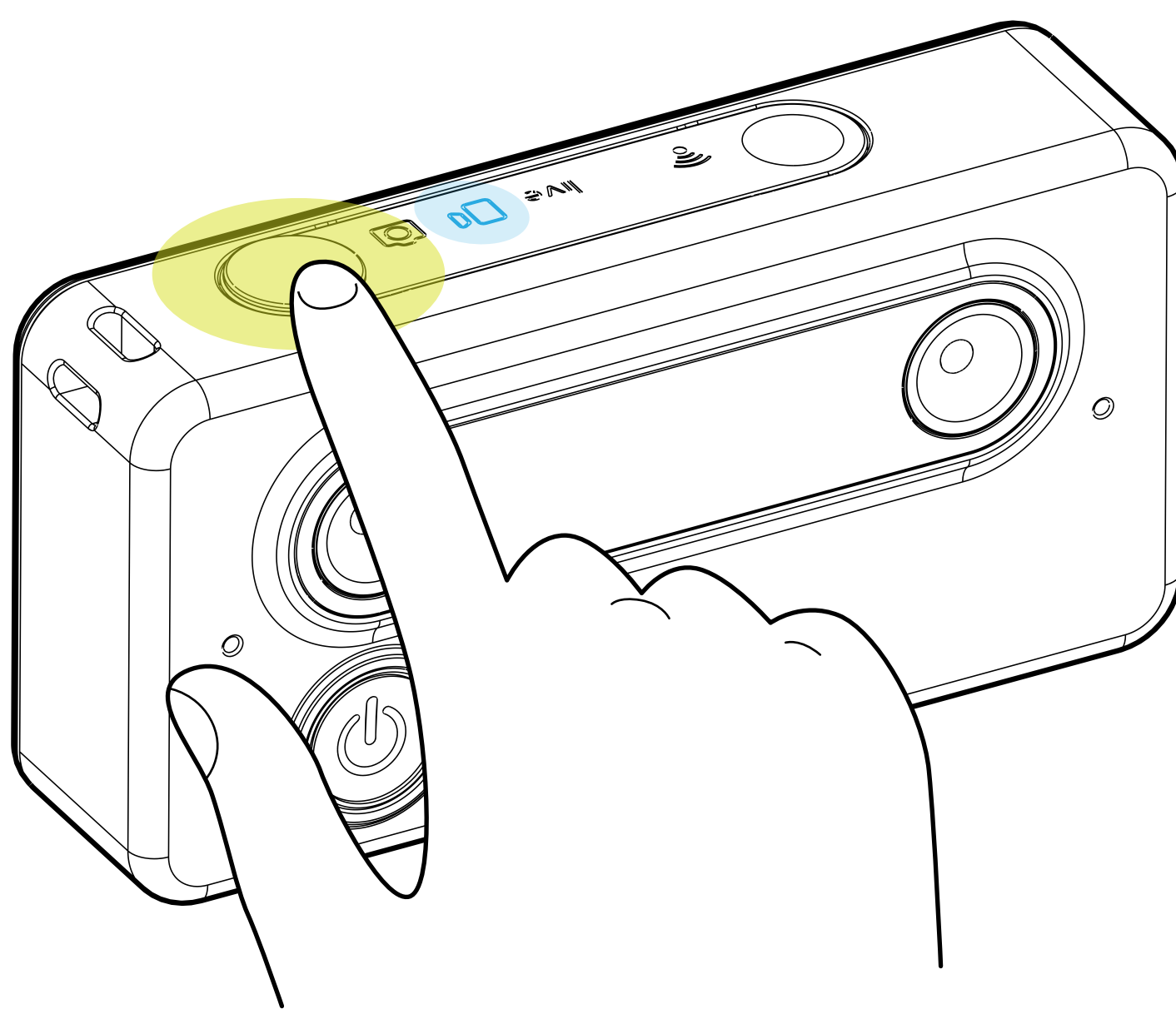
1 PCに接続する

USBケーブルで、カメラをPCに接続します。
カメラの電源をオンにすると、
「録画、写真、Live」のランプが点灯します。



2 マスのストレージモードを有効にする

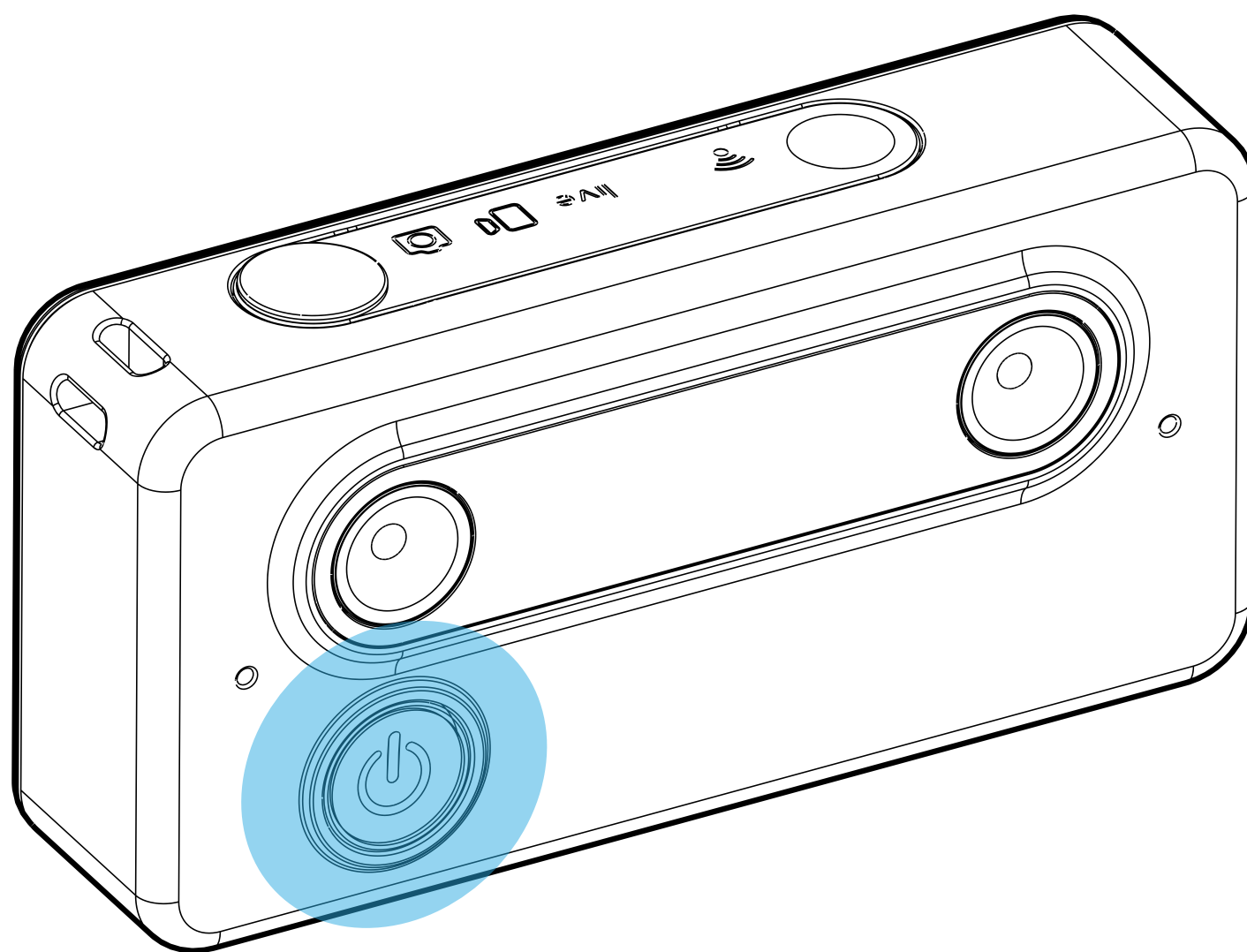
シャッターボタンを1回押すと、「録画」
ランプのみ点灯します。



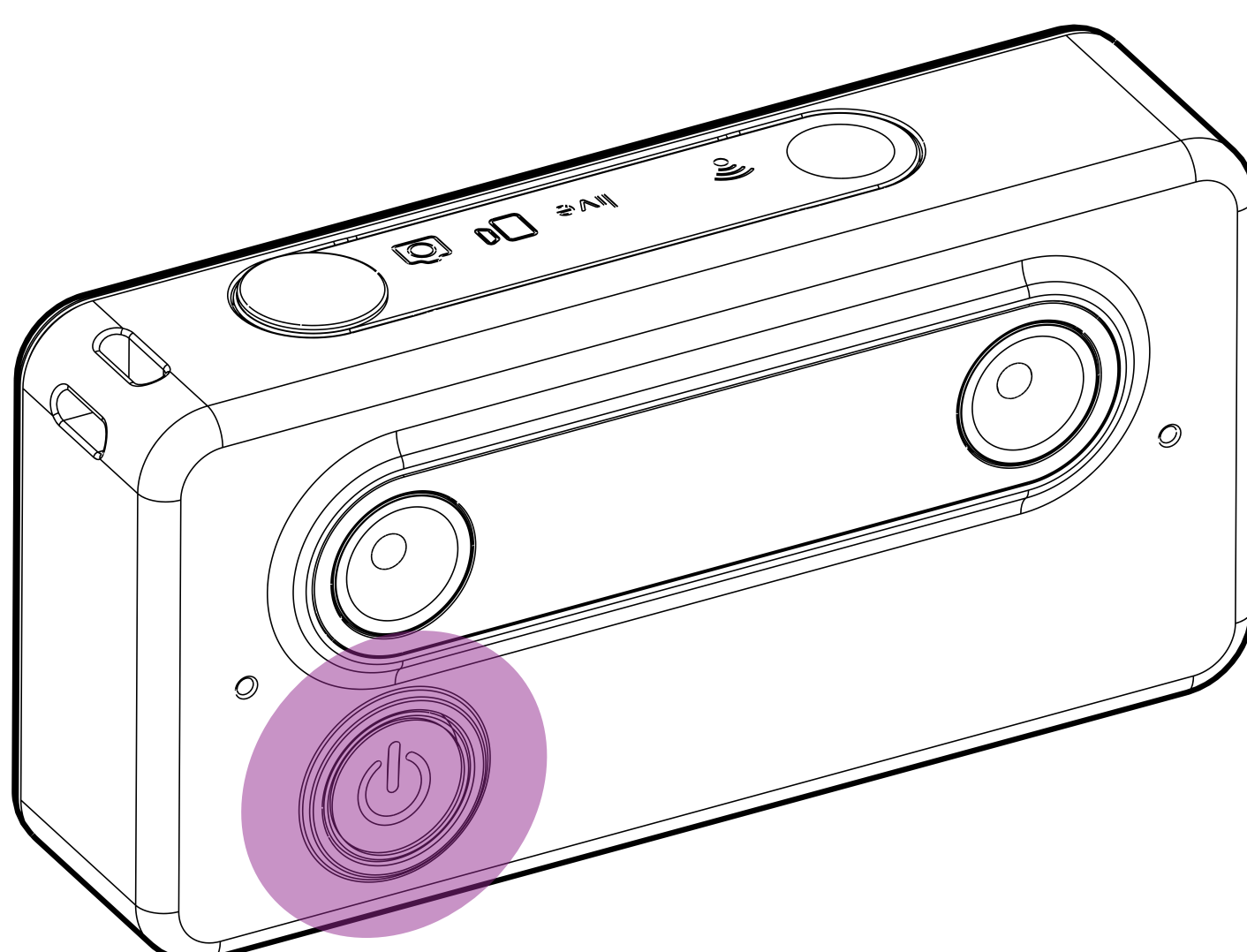
カメラに装着したメモリーカードをUSBマスのストレージとして、PC側に認識させることができます。

バッテリー表示

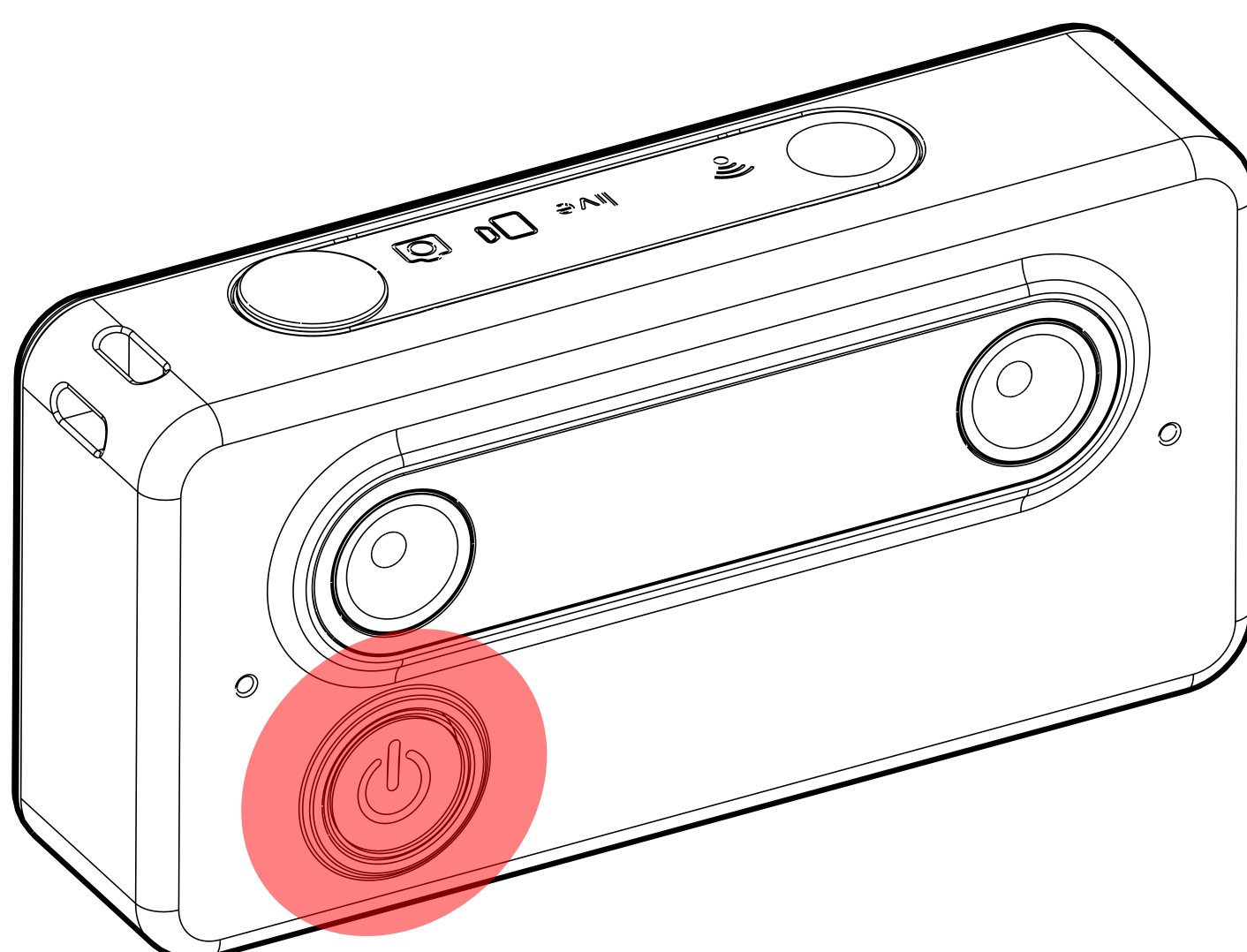
1 満充電状態 - 青色が点灯する



2 電池残量が半分程度 - 紫色が点灯する



3 電池残量が少ない - 赤色が点灯する



メモリーエラー表示

メモリーエラー - 赤色が点灯する



付録：3D LITEを使う

1

付属品の3D LITEを用意する

3D LITEのレンズ部を広げます。



2

スマートフォンに取り付け

3D LITEをスマートフォンに取り付けます。



3

3D映像を見る

「SIDカメラ」アプリを起動します。
Wi-Fi接続をして映像を表示させます。
レンズ越しに見ることで、3Dの映像を見ることができます。



お知らせ

この取扱説明書は、誤植やソフトウェア等の変更や改善により、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
最新情報は、弊社の公式ウェブサイトをご参照ください。
(<http://www.lets-co.jp/lets/>)

FCC ステートメント

この装置は、制御されていない環境に対して、設定されたFCCのRF放射制限に準拠しています。

このトランスミッターは、放射器と身体の間を20センチメートル以上の距離を置いて設置して、操作する必要があります。

また、アンテナやトランスミッターと一緒に使用しないでください。

警告

取扱説明書に記載されていない装置の変更または改造を行なうと、装置の使用ができなくなることがあります。

注記：この装置はテストされており、FCC規則のパート15のクラスBデジタル装置の規定に準拠しています。

これらの規定は、家庭環境の設置にて有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。

この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（機器の電源を入れ直すことで判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変えたり、移動したりする。
- 装置と受信機の間隔を広げます。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビの技術者に相談します。

この装置は、FCC規則パート15に準拠しています。

準拠する操作は、次の2つの条件を前提としています。

- (1) この装置は有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2) この装置は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め受信した干渉を受け入れなければなりません。

注記：この装置は、静電動作のもとで再起動する必要があります。

高品質の録画を実現するには、Class10以上のmicroSDカードを使用することをお勧めします。

